

上勝町における環境配慮

城北高校

鎌田美帆 清水志織

長尾和華 和田涼華

ゼロ・ウェイスト宣言で有名な徳島県上勝町の取り組みから、環境保護や資源循環について学ぶことを目的として、学校牛乳などの紙パックのリサイクルを中心にリサーチし、小学校で授業を行った。

11 住み続けられる
まちづくりを



15 陸の豊かさも
守ろう



・ 活動内容

10月 日誠産業 工場見学

紙パックのリサイクルの様子を見学。
その後出前授業の初回打ち合わせも行った。



・ 活動内容

11月 上勝小学校 出前授業 協力：日誠産業

紙パックのリサイクル、アップサイクルについての授業を実施。
クイズ、工作なども行い、最後には日誠産業様にご提供いただいたアップサイクルでできたボールペンをプレゼント。



・ 結果

- 上勝町では地形を生かし、つまものを販売する『**葉っぱビジネス**』に取り組んでおり、**地方創生**のモデルとなっている。
- 市販の紙パックに比べて、学校牛乳の紙パックは**運搬コストが高い**ことや**洗浄などの作業が難しい**ことなどが理由で、回収率が低いことが課題である。
- 上勝町では**45分別**を行っており、**リサイクル率が80%を上回る**ことで多くの企業や地域に注目されている。
- 環境教育**にも力を入れているため子どもたちの関心も高い。
- 上勝町とパートナーシップを結んでいる日誠産業は、**アップサイクル製品をさらにリサイクル**できるようにすることも目標としている。